

日本生糸の品質と消費動向

日本絹業協会 事業部長 石 川 正 夫

まえがき

日本の生糸消費はこの10年間に約2.5倍に増大した。(20万俵から50万俵に増加)日本の繭生産高は11万トン前後とほぼ横バイを続け(最近4ケ年はやや減産傾向)日本の生糸生産高も32万俵前後を推移している。

10年前は生糸生産高の約三分の一は輸出(輸出絹織物を含む)され、純内需は約20万俵余に過ぎなかったが、日本の経済成長、国民所得の増大は、国民一人当りの繊維消費の増大(年間一人当たり8kgから15kgに増大)を齊らし、全繊維消費の2%内外は絹消費という安定基盤を維持して今日に至っている。

生糸の総輸出高は10万俵から1万俵へと10分の一に激減したが、純内需が50万俵へと飛躍したため、不足分は輸入生糸(絹織物を含む)によって賄い、47生糸年度は輸入生糸156,652俵、輸入絹織物47,846俵、合計204,498俵の輸入高を示し、純内需の約4割に及んでいる。

47生糸年度の世界の生糸生産高は約72万俵と推定されているので、世界の70%の生糸は日本で消費したものとみられる。

日本の生糸消費がこのような増大したのは、前述の国民所得の増大によるものであるが、消費の内容を検討すると、和装需要が伸びたのであって、和装以外の需要はこの10年間、ほぼ横バイであることに注目しなければならない。

和装需要における生糸の品質は高級染呉服(高級白生地の後染)の高格生糸から紬着尺や、帯地の一部など低格生糸で間に合うものまで所要生糸の品質はマチマチで、これが世界の総ゆる品質の生糸を巧みに利用するのが和装需要の特長ともみられる。

和装に対する消費者の慾求は、生糸品質に起因する絹織物の品質を吟味する態度よりも、絹100%(正絹)といった“絹”に対する慾求が根強いので、日本生糸の品質向上による需要効果よりも、和装ブームに支えられた需要効果が大きかった。

近年輸入生糸の増大から、日本生糸との競合が品質面、価格面(採算面)、取引面に現われており、今後日本生糸はこれらの競合に打ち勝つ方策を、絶えず情勢に応じつつ打ち出してゆかねばならない。

本稿は『日本生糸の品質と消費動向』と題して、つぎの参考資料に基いて今後の動向について検討してみたいと思う。

1. 最近3ケ年間の日本生糸と輸入生糸の織度別、糸格別数量の動向
2. 輸入生糸の国内消費事情と、輸入生糸と日本生糸の品質面、価格面、取引面、産地動向における競合事情
3. 47歴年度の国内生糸消費状況の分析
4. 最近10年間の国内生糸消費状況
5. 10年後の国内生糸消費の見通しと、輸入生糸との競合及び世界の生糸需給の見通し
6. 今後の日本生糸の自衛策

(1) 最近三ヶ年間の日本生糸と輸入生糸の織度別、糸格別数量の動向

		輸 出 検 査			国用検査		検査高合計		輸 入 生 糸			日 本 生 糸 合 計		
		45 年	46 年	47 年	46年	47年	46 年	47 年	45年	46年	47年	45 年	46 年	47 年
14 中 以下	4 A	20	—	—	—	—	—	—	10	20	85	30	20	85
	3 A	265	30	7	—	—	30	7	345	144	214	610	174	221
	2 A	460	120	23	—	—	120	23	393	197	433	853	317	456
	A	340	150	89	—	3	150	92	77	5	—	417	155	92
	B 以下	132	30	29	—	—	30	29	63	80	—	195	110	29
	合 計	1,217	330	148	—	3	330	151	888	446	732	2,105	776	883
	平均格	A75	A45	A05		a.0	A45	A05	2A18	2A04	2A52	A93	A79	2A27
21 中	4 A	7,447	6,067	6,992	4,037	4,018	10,104	11,010	150	260	2,822	7,597	10,364	13,832
	3 A	37,147	29,410	31,184	11,829	9,517	41,239	40,701	3,480	10,165	22,172	40,627	51,404	62,873
	2 A	32,016	25,192	23,515	5,187	4,004	30,379	27,519	11,839	25,391	37,662	43,855	55,770	65,181
	A	17,997	12,527	11,735	1,424	802	13,951	12,537	12,746	15,341	16,908	30,743	29,292	29,445
	B 以下	4,856	3,890	3,615	227	110	4,117	3,725	18,465	24,021	20,378	23,321	28,138	24,103
	合 計	99,463	77,086	77,041	22,704	18,451	99,790	95,492	46,680	75,178	99,942	146,143	174,968	195,434
	平均格	2A24	2A27	2A34	2 a 79	2 a 89	2A39	2A45	A01	A30	A70	A74	A92	2A06
27 中 (26 ~ 28)	4 A	9,465	9,740	10,979	7,068	12,694	16,808	23,673	233	1,825	3,955	9,698	18,633	27,628
	3 A	21,639	18,519	16,856	10,001	12,516	28,520	29,372	1,868	2,230	6,993	23,507	30,750	36,365
	2 A	8,122	5,844	5,168	1,575	1,285	7,419	6,453	1,949	1,202	2,215	10,071	8,621	8,668
	A	2,660	2,069	1,565	403	344	2,472	1,909	915	880	1,162	3,575	3,352	3,071
	B 以下	696	455	255	66	76	521	331	1,358	690	424	2,054	1,211	755
	合 計	42,582	36,627	34,823	19,113	26,915	55,740	61,738	6,323	6,827	14,749	48,905	62,567	76,487
	平均格	2A85	2A95	3A06	3 a 23	3 a 39	3A05	3A42	A79	2A53	2A87	2A72	2A99	3A14
31 中 (30 ~ 31)	4 A	1,308	780	520	3,275	3,189	4,055	3,709	30	155	890	1,388	4,210	4,599
	3 A	1,398	795	545	5,377	5,397	6,172	5,942	110	365	542	1,508	6,537	6,484
	2 A	507	300	115	670	730	970	845	255	214	490	762	1,184	1,335
	A	175	60	75	130	289	190	364	4	60	135	189	250	499
	B 以下	10	39	25	35	108	74	133	725	500	1,022	735	574	1,155
	合 計	3,398	1,974	1,280	9,487	9,713	11,461	10,993	1,134	1,294	3,079	4,532	12,755	14,072
	平均格	3A12	3A12	3A14	3 a 24	3 a 16	3A21	3A15	B85	A70	2A04	2A55	3A06	2A91

		輸 出 検 査			国用検査		検査高合計		輸 入 生 糸			日 本 生 糸 合 計		
		45 年	46 年	47 年	46年	47年	46 年	47 年	45年	46年	47年	45 年	46 年	47 年
42 中	4 A	358	195	—	660	986	855	986	85	614	1,886	443	1,469	2,872
	3 A	510	101	30	770	731	871	761	401	600	2,106	911	1,471	2,867
	2 A	10	5	25	5	129	10	154	145	201	134	155	211	288
	A	35	4	23		66	4	89	82	73	282	117	77	371
	B 以下	—	—	19	20	12	20	31	37	62	59	37	82	90
	合 計	913	305	97	1,455	1,924	1,760	2,021	750	1,550	4,467	1,663	3,310	6,488
平均格		3A30	3A59	A68	3a41	3a36	3A44	3A28	2A55	3A05	3A22	2A96	3A26	3A24
50 75 中	4 A					10	—	10				—	—	10
	3 A					31	—	31				—	—	31
	2 A					52	—	52				—	—	52
	A					60		60				—	—	60
	B 以下		6			11	6	11	2,066	1,589	2,718	1,754	1,136	2,162
	合 計		6			164	6	164	2,066	1,589	2,718	1,754	1,136	2,315
平均格			B0			A81	B0	A81	B0	B0	B0	B0	B0	A13
80 中 以上	B 以下								142	—	344			
その他		253	105	105	68,108 ↑ 正量検査	65,060 ↑ 正量検査	68,213	65,165	7,005 うち未報告 1,025	9,820 うち未報告 3,558	38,676 うち未報告 20,839		78,033	103,841
合 計		147,826	116,433	113,494	120,867	122,227	237,300	235,721	63,796	96,704	164,707	315,256	334,004	400,428

輸入生糸その他分類

	↓	↓	↓
17～20中	1,063	1,565	7,334
22～25中	817	2,048	6,871
29中	705	1,092	2,315
33～40中	2,093	1,320	1,267
そ の 他	1,302	237	50
計	5,980	6,262	17,837

(注) 資料, 横浜生糸検査所調査課統計及び農林省繭糸課資料による。

- (イ) 日本生糸の検査格付成績は輸出検査、国用検査とも向上を示している。(但し 14 中と 42 中は例外) 輸入糸の糸格向上は著しい。

織 度 別	輸 出 検 査			国 内 検 査			輸 入 生 糸		
	45	46	47	45	46	47	45	46	47
1 4 中	A75	A45	A05	—	—	a0	2A18	2A04	2A52
2 1 中	2A24	2A27	2A34	—	2A79	2 a 89	A01	A30	A70
2 7 中	2A85	2A95	3A06	—	3 a 23	3 a 39	A79	2A53	2A87
3 1 中	3A12	3A12	3A14	—	3 a 24	3 a 16	B85	A70	2A04
4 2 中	3A30	3A59	A68	—	3 a 41	3 a 36	2A55	3A05	3A22

(注) 輸入生糸の糸格分類は、B 格以下及び無格は一応 B 格として計算した。

- (ロ) 輸入生糸は日本生糸と異って、中間織度 17 中～20 中、22～25 中、29 中が急増している。
(ハ) 輸入生糸の原産国別の織度別、糸格別分類表は別表を参照されたい(当日配布)
(ニ) 輸入生糸のうち無検査生糸の輸出国は、北ベトナム、ブラジル、ギリシヤ、台湾、ルーマニア、ハンガリー等で、これら諸国の 47 歴年輸入高は 4,866 俵 (0.3%) であった。

また、国際格付によらない旧欧州格付 (1st. 2nd 等) による国はブルガリア、ユーゴ等で両国の 47 歴年の輸入高は 3,006 俵 (0.2%) であった。

- (ホ) 中国糸、韓国糸の一部にも無格物があり、これは輸入商社が糸格があるのに「無格」として報告したのか、事実無格なのか明らかでない。

因みに 47 歴年の中国糸、韓国糸で無格物は右表のとおり。

中 国 糸		韓 国 糸	
29 中	60 俵	26 中	10 俵
30 中	888	40 中	7
32 中	100		
35 中	1,030		
37 中	25		
60 中以上	474		
計	2,577	計	17

- (2) 輸入生糸の国内消費事情と輸入生糸と日本生糸の品質面、価格面、取引面における競合事情

- (イ) 輸入生糸の国内消費事情

	日 本 生 糸 生 産 高			輸 入 生 糸			日 本 生 糸 合 計		
	45 年	46 年	47 年	45 年	46 年	47 年	45 年	46 年	47 年
1 4 中	1,791	1,312	1,623	1,635	1,986	8,066	3,426	3,298	9,689
2 1 中	188,146	173,258	151,800	46,680	75,178	99,942	234,826	248,436	251,742
33 中以下	101,049	97,849	108,609	8,979	11,261	27,014	110,028	109,110	135,623
34 中以上	44,244	50,046	50,809	5,477	4,721	8,846	49,721	54,767	59,655
生 糸 合 計	335,230	322,465	312,841	不明 1,025 63,796	不明 3,558 96,704	不明 20,839 164,707	不明 1,025 399,026	不明 3,558 419,169	不明 20,839 477,548
玉 糸	6,694	5,606	6,104	2,182	1,806	3,934	8,867	7,412	10,038
生糸玉糸合計	341,924	328,071	318,945	65,978	98,510	168,641	407,902	426,581	487,586

(注) 日本生糸生産高は蚕糸統計月報による。輸入生糸の合計は大蔵省の通関統計による。輸入生糸の「不明」とあるのは農林省調査による輸入商社の報告高と通関統計の差、つまり輸入商社の未報告分に相当する。

14中生糸の供給高と、日本生糸の自給率 (実質は17中以下の生糸)	45 年度	46 年度	47 年度
	52%	40%	17%
21中生糸の "	80%	70%	60%
33中以下 (主に27中)	92%	90%	80%
34中以上 (主に42中)	89%	91%	85%
生糸総供給高と	84%	77%	65%
玉糸 "	75%	76%	61%
生糸玉糸合計供給高と	84%	77%	65%

(ロ) 輸入生糸と日本生糸の品質上の競合関係

この資料は 46 年 10 月農林省企画により実施 (中蚕委託調査) した輸入生糸流通消費実態調査結果報告書より引用した。

	日 本 生 糸 の 劣 る 点	日 本 生 糸 の 優 れ た 点
中 国 糸	伸度がよい (輪絹全産地) 織度偏差がよい (十日町, 五泉, 埼玉) 大中節がよい (丹後, 五泉, 米沢) (練減りが少ない) 全産地	色相が黒い (白生地産地) 織度が太め (6 産地) 固着糸がある。再繰が悪い (福井, 金沢, 八王子) 織度偏差が悪い (丹後, 八王子, 小松, 桐生)
	日本糸に比して優れている点	日本糸に比し劣る点
韓 国 糸	伸度がよい (丹後, 金沢) (練減りが少ない) 全産地	織度偏差が悪い (桐生, 米沢) フシが悪い (輪絹産地) 固着が多い (丹後, 金沢) 抱合が悪い (十日町, 丹後) 光沢が悪い (五泉, 丹後, 埼玉)

上記の比較は日本糸と同織度同格の糸についての比較ではなく機屋からみた一般論を列記したものである。

輸入生糸の検定証の内容分析は、資料不足のためデータとして比較することは適当でないともて取り止めた。

(ハ) 輸入生糸と日本生糸の価格面での競合関係 (46 年 10 月中蚕委託調査より)

輸入商社の仕入価格は横神市場価格から採算して適正利潤を確保した価格で契約されるのが普通である。

但し中国糸価は本年 3 月中旬以降, 21中 2 A キロ 96 円と建値を上げたので, 現在の輸入採算価格はキロ 14,500 円以上となる。

(例) 1 元 = 139 円の場合

96 円 × 139 = 13,344 円…… (1 キロ当り円代金) C I F 価格

輸入関税 7.5 % = 1,008 円

輸入商社の陸揚諸掛り及び利潤 500 円とみる

輸入商社の採算価格 13,344 円 + 1,008 円 + 500 円 = 14,852 円

産地問屋は横神問屋より輸入生糸を購入する場合, 機屋の購入格差が 21 中 2 A の場合,

日本糸に比し 50 円 ～ 150 円 安いのが通例なので、横神市場でもその程度の(一)格差が生れている。

中国糸は全国統一の商標のため、製糸工場のメーカー名が不明である。生糸検査所名（上海、天津、広州、青島、重慶等）による同格糸でも格差が異なる例が多い。上海糸が最も良質とされ日本糸と同値に近いものもある。

中国糸については同じ 2 A でも、どの地域の生糸が入手できるか輸入商でも不明とされている。

中国糸に対して銘柄指定ができれば、優良糸については銘柄格差（プレミアム）がつくものとみられる。

練減率は日本生糸の平均 24 % 内外に対し、中国糸 21 % 内外、韓国糸 22 % 内外なので、機屋の織物採算からみれば、中国糸は日本糸に比し、生糸 1 kg 当り 30 g の出目、韓国糸は 20 g の出目となり、生糸 1 kg 当り採算では中国糸は約 400 円、韓国糸は約 260 円有利となる。（キロ当り糸価約 13,000 円の場合）

織物採算が有利なのに拘わらず、生糸格差がマイナス格差であるのは輸入生糸に対する信用度（品質格差、系列化の不安定、クレーム、アフターサービスの不備等）が総括されているものとみられる。

(二) 輸入生糸と日本生糸の取引面における競合関係（46年10月中蚕委託調査資料より）

	日 本 糸	中 国 糸	韓 国 糸
先 約 定	系列化により特定製糸工場との約定が可能	数量約定は特定品質の生糸確保は困難、納期不確定系列化困難	数量約定は可能だが、引渡期が不確定系列はやや困難
クレームに対する処理	製糸家、機屋相対解決可能 アフターサービスの強化可能	輸入商、生糸問屋の信用店のみ或る程度、金銭的解決可能	左記に同じ
特定品質内容の約定	容 易	困 難	困 難

大手中国生糸輸入商社の商策

1. 常時各種織度、各種糸格の生糸を備蓄し置き、機屋の要求する生糸を供給し得る体制を図っている。
2. 中国糸の織度を細目にするよう中国側に働きかけている。
3. 中国生糸の統一商標を或る記号を付して、製糸工場が判別できるよう中国側に働きかけている。
4. 中国糸のマイナス格差を逆にプレミアム付加に直そうと努力している。

韓国生糸の輸出成約

1. 値極約定をしても、その後糸価が値上りすると契約を履行しない場合がある。
2. 生産生糸の 40 % は輸絹用に割当ての方針

(二) 国内絹織物産地の輸入生糸消費事情（46 年 10 月中蚕委託調査より）

- 1) 機屋の輸入生糸購入理由

価格が割安だから（練減りが少いから） 69%

品質が良いから 16%

問屋が奨めるから 10%

保税加工だから（輸絹用免税） 4%

そ の 他 1%

2) 産地別輸入生糸消費量概数 (45 生糸年度)

産 地 名 (調査産地)	45 生糸年度 生糸消費概数	輸 入 生 糸 消 費 割 合	輸入生糸消費 高 概 数	輸 入 生 糸 使 用 途
鶴岡, 川俣	6,500俵	54%	3,500俵	輸絹, 保税加工
米 沢	5,400	13	700	婦人服地用
桐生内地	8,800	25	2,200	先染着尺地, 帯地
桐生輸出	1,000	60	600	輸絹保税用
埼玉裏絹	6,300	40	2,500	白生地胴裏地（和装）
八王子	10,000	20	2,000	先染着尺, ネクタイ
十日町	22,000	30	6,600	白生地ヨコ糸, 先染着尺
五 泉	16,500	15	2,500	白生地ヨコ糸, 一部タテ糸
小 松	25,000	20	5,000	白生地ヨコ糸
福 井	11,000	40	4,200	輸絹保税用
春 江	12,000	15	1,600	白生地ヨコ糸
長 浜	18,000	5	1,000	白生糸ヨコ糸, 紬タテ糸
西陣工業	38,600	40	16,000	先染帯地
西陣着尺	22,800	30	6,600	先染着尺
丹 後	135,000	10	13,500	白生糸ヨコ糸, 一部タテ糸
博 多	13,000	10	1,300	先染帯地
絹 縫 糸	14,000	20	2,800	穴カガリ糸, 手縫糸
計	365,600	20	72,600	

輸入生糸は主として輸絹産地の保税用が最も使用率が高く、次いで先染産地、白生地産地の順である。使用量（絶対量）は先染と白生地は各 30,000 俵内外で近似している。

白生地用には主にヨコ糸が主であるが、一部の機屋はタテ糸にも使用し、タテ、ヨコ共、輸入生糸を使用しているところもある。

（注） 上記の調査は国内の 88%に相当する実態調査である。

(3) 47 歴年度の国内生糸消費状況の分析

(イ) 産地別生糸消費

別表に示すとおり47歴年度の織物産地の生糸消費高（42産地）は478,228 俵で前年比14%増（生糸14%増，玉糸10%増）であった。

生糸（玉糸を含む）消費の多い産地を順に示せば，

	生 糸（玉糸を含む）		絹 紡 糸		手 紡 絹 糸				
		俵 %		60kg俵 %		60kg俵 %			
1	丹 後	147,441	30.8	十 日 町	3,805	17.5	小 千 谷	506	27.3
2	西陣（織工 着尺	59,367	12.4	西陣織工	3,798	17.4	石 下	411	22.2
3		21,552	4.5	伊 勢 崎	2,165	9.6	長 野	335	18.1
4	小 松	29,833	6.2	八 王 子	1,882	8.6	結 城	261	14.1
5	長 浜	26,177	5.5	秩 父	1,430	6.6	塩 沢	171	9.2
6	十 日 町	23,029	4.8	小 千 谷	1,408	6.5	八 王 子	65	3.5
7	五 泉	19,885	4.2	西陣着尺	1,350	6.2	米 沢	43	2.3
8	春 江	16,746	3.5	長 浜	1,325	6.1	西陣着尺	30	1.6
9	博 多	16,520	3.5	加 茂	607	2.8	西陣織工	20	1.1
10	福 井	13,527	2.8	石 下	604	2.8	長 井	5	0.3
計		78.2		計		84.1	計		99.7

ビス糸，手屑（緒糸）糸等は，絹紡糸，手紡絹糸の消費産地に向く。

地域ブロック別の生糸消費

東 北ブロック	15,646俵	3.3%	}	東日本	22.6%
関 東 "	39,114	8.2			
甲信越 "	52,981	11.1			
北 陸 "	74,463	15.6	}	西日本	77.4%
関 西 "	270,104	56.5			
九 州 "	25,552	5.3			

(ロ) 用途別生糸消費

別表に示すとおり和装需要が 92.7%を占め，洋品雑貨2.8%（ネクタイ2.5%，スカーフ0.3%），洋装用1.2%，装飾用1.0%，輸絹2.1%

また和装需要の内容は白生地69.9%，先染着尺13.1%，帯15.6%，和装小物1.4%であった。

		4 6 歴 年		4 7 歴 年		前年比
輸 出 絹 織 物		9,918俵	2.3%	10,196俵	2.1%	103
和 装 用	白 生 地	273,235	65.2	309,611	64.7	113
	先 染 着 尺	56,211	13.4	57,981	12.1	103
	帯 地	48,467	11.6	69,088	14.5	143
	和 装 小 物	7,796	1.9	6,457	1.4	83
	計	385,709	92.1	443,137	92.7	115
洋 装 用		5,492	1.3	5,713	1.2	104
洋 品 雑 貨		12,452	3.0	13,477	2.8	108
(うちネクタイ)		(11,177)	(2.7)	(12,014)	(2.5)	107
装 飾 用		4,433	1.1	4,769	1.0	108
夜具丹前座ぶとん		602	0.1	594	0.1	99
工 業 用 (篩絹等)		390	0.1	342	0.1	88
合 計		418,996		478,228	100	114
絹 縫 糸		13,681 俵		14,420 俵		105

(イ) 絹織物産地の絹織物稼動機台数（絹交織を含む）

別表のとおり絹稼動台数は132,112台で、前年の122,578台に比して7.7%増加した。

広巾力織機 20,233台で前年の21,848台に比し7%減

小巾力織機 68,410台で " 63,479台 " 8%増

手織足踏機 43,469台で " 37,251台 " 66%増

白生地稼動台数 55,994台で前年の52,938台に比し6%増

先染物稼動台数 73,727台で前年の66,945台に比し10%増

輪絹用稼動台数 2,391台で前年の2,695台に比し11%減

広巾力織機の稼動が減少しているのは輪絹稼動の減少、十日町、五泉、加茂、春江、長浜、丹後、出石などの白生地産地が広巾力織機から小巾力織機に切替えたためである。手織足踏機の増加は鹿児島（大島紬）と伊勢崎（シルクウール）の増加による。（先染物稼動台数の59%は手織機である。

(ニ) 和装用原反の品目別生産高

1) 白生地の部

白生地生産高は小巾3丈（12m×0.36m）換算、正絹28,477千反（白生地、塩瀬を除く）で前年比10%増、そのうち表地用とみられる白生地は18,921千反で前年比15%増、裏地用は8,854千反で4%増、反数が10%増で生糸消費13%増は平均重目に移行、裏地分野には依然として中国絹織物と合化織物が進出していることが窺える。

無地ちりめん（一越、変り無地、精華、古代、上代ちりめん等）表地は24%増、紋

意匠ちりめん 21 %増、駒倫子 12 %減と白生地の中でも流行によって品目別生産には消長が著しい。

表地に較べて裏地用の伸びが少いが、中国からの輸入絹織物 13,101 千 m^2 （小巾換算 2,977 千反）、このうち 60 %の約 1,800 千反（生糸換算約 14,000 俵）が和装裏地に充当されているとみられ、国内の産地は表地の増産に対し、裏地の増産は手控えざるを得ないこととなる。

2) 先染着尺の部

正絹先染着尺の生産高は 4,964 千反で前年比 3 %増、品目別には大島紬（紬糸は使用せず全部生糸使用）（12 %増、紬織（絹紡糸、手紡絹糸の使用が比較的多い） 11 %増、紵織 30 %増、絹、紗などの盛夏物 8 %増、これに反してお召 10 %減、雨コート 6 %減で、高級生糸の使用分野であるお召が減じ、代って大島が伸びたが先染着尺全般での生糸消費は 3 %増であった。

3) 帯地の部

47 年は帯地の生産が異常に増加した。これは西陣帯の増産によるが、正絹帯地 793 万本で前年比 55 %増、生糸消費 43 %増、本数増加の割に生糸消費増加の少いのは絹紡糸が充当されたためである。

袋帯が 83 %増、名古屋、袋名古屋帯が 87 %増、黒共帯 38 %増、博多帯 19 %増と帯のすべてが増産した。

絹のきもの表地（白生地 1,892 万反と先染着尺 426 万反、雨コート、袴地、羽織を除く約 2,300 万反）に対し正絹帯 790 万本は表地 1 反につき帯 0.34 本の割で、前年の 0.25 本に比し大巾に増加した。

47年(歴年)絹織物産地別生糸類消費高 (単位 60 kg = 俵)

(資料 日本蚕糸事業団)

産地名	46年(1—12月)			47年(1—12月)				野蚕糸		手紡糸		絹紡糸	
	生糸	玉糸	計	生糸	玉糸	計	前年比	46年	47年	46年	47年	46年	47年
鶴岡	1,968	169	2,137	861	228	1,089	51	0	0	0	0	0	0
米沢	5,962	975	6,937	4,886	1,140	6,026	87	122	81	177	43	425	501
長井	—	—	—	285	87	372	—	—	—	—	5	—	—
川俣	2,865	0	2,865	4,067	0	4,067	141	0	0	0	0	0	0
飯野	1,435	999	2,434	1,748	2,344	4,092	168	0	0	0	0	0	0
足利(輸出)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
"(内地)	1,538	0	1,538	1,785	0	1,785	116	0	403	0	0	156	308
結城	0	0	0	0	0	0	—	0	0	300	261	0	0
石下	560	5	565	1,051	0	1,051	185	0	0	653	411	12	604
伊勢崎	1,143	0	1,143	1,036	163	1,199	105	0	0	0	0	1,431	2,165
桐生	1,128	9	1,137	1,034	16	1,050	92	0	0	0	0	174	148
桐生(内地)	4,879	9	4,888	6,755	210	6,965	142	0	0	0	0	179	238
群馬生絹	3,770	3,086	6,856	5,844	1,443	7,287	106	0	0	0	0	0	0
秩父	805	742	1,547	215	837	1,052	68	—	—	6	4	1,658	1,430
飯能	5,532	787	6,319	6,767	990	7,757	123	0	492	0	0	0	0
八王子	10,011	256	10,267	9,181	230	9,411	91	43	40	70	65	2,129	1,882
村山	1,396	0	1,396	1,557	0	1,557	112	0	0	0	0	0	0
浜松	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,040
富士吉田	2,185	43	2,228	2,479	46	2,525	113	0	0	0	0	130	131
松本	1,827	46	1,873	2,019	40	2,059	110	0	0	263	335	33	28
十日町	23,865	0	23,865	23,029	0	23,029	96	96	120	0	0	3,055	3,805
五泉	17,103	0	17,103	19,885	0	19,885	116	0	0	0	0	0	0
塩沢	272	102	374	271	97	368	98	0	0	171	171	0	0
小千谷	189	0	189	213	0	213	113	0	0	450	506	1,250	1,408
加茂	3,959	0	3,959	4,902	0	4,902	124	0	0	0	0	272	607
城端	2,936	11	2,947	3,152	36	3,188	108	0	0	0	0	0	0
金沢	2,539	39	2,578	2,948	12	2,960	115	0	0	0	0	4	0
小松	26,904	181	27,085	29,742	91	29,833	110	0	0	0	0	69	51
加賀	4,330	71	4,401	4,701	59	4,760	108	0	0	0	0	59	48
根上	3,170	0	3,170	3,449	0	3,449	109	0	0	0	0	0	0
福井	10,477	51	10,528	13,461	66	13,527	128	0	0	0	0	75	81
春江	12,465	0	12,465	16,746	0	16,746	134	0	0	0	0	0	0
前宮	4,390	0	4,390	4,226	0	4,226	96	0	0	0	0	125	240
中屋	2,049	0	2,049	2,182	0	2,182	106	0	0	0	0	0	0
浜縮	20,737	0	20,737	26,177	0	26,177	126	0	0	0	0	2,076	1,325
鳥取	—	—	—	368	0	368	—	0	0	0	0	0	0
西陣織物業	42,019	515	42,534	58,342	1,025	59,367	140	21	22	21	20	1,815	3,798
西陣着尺	20,156	50	20,206	21,502	50	21,552	107	25	25	25	30	1,300	1,350
丹後	136,072	101	136,173	147,441	0	147,441	108	0	0	0	0	721	327
出石	7,368	0	7,368	9,159	0	9,159	124	0	0	0	0	0	285
博多	14,243	398	14,243	16,230	290	16,520	116	0	0	0	0	0	0
鹿児島	5,335	0	5,335	5,871	0	5,871	110	0	0	0	0	0	0
奄美大島	2,769	0	2,769	3,155	0	3,155	114	0	0	0	0	0	0
久留米	—	—	—	6	0	6	—	—	0	—	3	—	21
総計	410,351	8,645	418,996	468,728	9,500	478,228	114	307	1,183	2,136	1,854	17,148	21,821

47年(歴年)産地別にみた生糸(玉糸を含む)の用途別消費高(単位俵)

(資料, 日本蚕糸事業団)

産地名	輸絹用	和装用					洋装用	(上段ネ クタイ) 洋雑 品貨	装飾用	夜具地 丹前地 座ぶと ん地	工業用	合 計
		白生地	先染着尺	帯地	和装 小物	計						
鶴岡	315	120				120	317	172				1,089
米沢	421	285	4,410	81	46	4,822	634	165		67		6,026
長井			372			372		82				372
川俣	2,100	500				500	67	700				4,067
飯野		4,092				4,092		700				4,092
足利(輸出)												
"(内地)		593	1,192			1,785						1,785
結城		526	525			1,051						1,051
石下			719			719	462					1,199
伊勢崎	18											1,050
桐生(内地)	1,005											6,965
群馬生絹		539	3,648	2,049	48	6,284	545	30	106			7,287
秩父		7,287				7,287						1,052
飯能			990			990				62		7,757
八王子	19	7,536	221			7,757						9,411
村山			6,538			6,538	17	2,593			190	1,557
半原			1,557			1,557		54				
富士吉田			312		25	337	987	679		465		2,525
本松		1,591	351		117	2,059		57				2,059
十日町		14,932	8,066	20		23,018		11				23,029
五塩		14,895		4,960	30	19,885						19,885
小千谷			368			368						368
加茂			213			213						213
城端		4,702			200	4,902						4,902
金沢	1,937	3,116			8	3,124			49		15	3,188
小松	158	995				995	9	4	15			2,960
加賀	139	28,240			700	28,940	735					29,833
根上	344	4,621				4,621						4,760
福井	3,695	3,105				3,105						3,449
春江		8,248			1,023	9,271	265	276	20			13,527
前宮		16,736			10	16,746						16,746
中屋		4,226				4,226						4,226
浜縮		1,312			457	1,769			276		137	2,182
鳥取		26,177				26,177						26,177
西陣織物業		368				368						368
西陣着尺			47,159			47,159	438	7,342	4,303			59,367
丹後		2,117	19,435			21,552		125				21,552
出石	143,178				3,026	146,204	1,237					147,441
博多		8,987	16	156		9,159						9,159
鹿兒島		587	16	14,663	767	16,033		487				16,520
奄美大島			5,871			5,871						5,871
久留米			3,155			3,155						3,155
			6			6		(括弧内は ネクタイ)				6
総 計	10,196	309,611	57,981	69,088	76,457	443,137	5,713	(12,014) 13,477	4,769	594	342	478,228
前年度	9,918	273,235	56,211	48,467	7,796	385,709	5,492	(11,177) 12,452	4,433	602	390	418,996

47年（歴年）産地別全織機稼動に対する絹稼動状況（単位 台数）

（資料 日本蚕糸事業団）

産地名	工場数		広巾力織機		小巾力織機		手織足踏機		合計	
	総数	稼動	稼動	うち絹	稼動	うち絹	稼動	うち絹	稼動	うち絹
鶴岡	4	4	683	148	20	20	0	0	703	168
米沢	300	294	3,100	407	1,679	450	13	0	4,792	857
長井	16	16	0	0	60	60	130	130	190	190
川俣	370	366	12,600	1,300	0	0	0	0	12,600	1,300
飯野	30	30	0	0	1,460	1,460	0	0	1,460	1,460
足利（内地）	1,269	1,209	2,191	0	1,510	562	0	0	3,701	562
結城	2,300	2,300	0	0	0	0	いざり機 2,500	2,500	2,500	2,500
石下	79	79	0	0	602	602	106	106	708	708
伊勢崎	233	233	338	17	1,513	220	4,194	2,307	6,045	2,544
桐生	800	800	5,200	500	0	0	0	0	5,200	500
桐生（内地）	669	669	2,700	880	810	680	8	8	3,518	1,568
群馬生絹	34	34	0	0	2,474	2,474	0	0	2,474	2,474
秩父	362	340	2,030	210	945	305	0	0	2,975	515
埼玉	222	218	129	129	2,680	2,680	290	290	3,099	3,099
八王子	340	322	2,351	1,175	996	498	—	—	3,347	1,673
八村山	82	72	0	0	2,206	2,206	1,074	1,074	3,280	3,280
半原										
富士吉田	5,380	5,333	17,121	770	1,220	41	0	0	18,341	811
長野	113	112	58	58	467	467	103	103	628	628
日町	151	147	1,813	1,808	4,028	3,991	106	106	5,947	5,905
十五泉	32	32	333	333	2,362	2,362	0	0	2,695	2,695
塩沢	25	24	0	0	335	335	598	598	933	933
小谷	54	50	30	30	554	554	46	46	630	630
加茂	28	28	403	200	1,319	600	0	0	1,722	800
城端	31	31	1,289	285	309	288	0	0	1,598	573
金沢	1,547	1,545	36,006	419	8	0	0	0	36,014	419
小松	505	505	8,690	4,345	1,010	938	0	0	9,700	5,283
加賀	19	19	322	322	581	581	0	0	903	903
根上	84	84	1,455	666	80	54	0	0	1,535	720
福井	66	66	5,243	2,230	1,140	1,140	0	0	6,383	3,370
春江	54	54	0	0	2,457	2,457	0	0	2,457	2,457
前宮	203	200	440	185	916	916	0	0	1,356	1,101
中屋	237	235	852	214	319	313	0	0	1,171	527
浜縮	121	121	80	80	1,960	1,960	86	86	2,126	2,126
鳥取	6	3	0	0	40	40	0	0	40	40
西陣織物工業	7,072	6,719	1,357	1,111	11,349	10,630	5,841	5,743	18,547	17,484
西陣着尺	1,300	1,300	50	50	3,400	3,400	50	50	3,500	3,500
丹後	8,144	8,144	3,452	1,885	28,818	21,051	0	0	32,400	22,936
出石	867	867	306	196	3,100	2,294	1	0	3,407	2,490
博多	157	157	280	280	1,765	1,765	81	81	2,126	2,126
鹿児島	361	361	0	0	0	0	21,000	21,000	21,000	21,000
奄美大島	298	298	0	0	0	0	9,228	9,228	9,228	9,228
久留米	3	3	0	0	16	16	13	13	29	29
総計	33,955	33,392	110,907	20,233	84,508	68,410	45,468	43,469	240,883	132,112
前年度	32,381	31,636	110,602	21,848	78,729	63,479	42,040	37,251	231,371	122,578

47年（歴年）産地別内需白生地、先染、輪綯別、絹織物稼動機台数

（資料 日本蚕糸事業団）

産地名	内需白生地			内需先染			輪綯	合 計			
	広 巾	小 巾	手 織	広 巾	小 巾	手 織	広 巾	広 巾	小 巾	手 織	計
鶴岡	120	20	0	0	0	0	28	148	20	0	168
米沢	37	25	0	350	425	0	20	407	450	0	857
長井					60	130			60	130	190
川俣	650	0	0	0	0	0	650	1,300	0	0	1,300
飯野	0	1,460	0	0	0	0	0	0	1,460	0	1,460
足利（輸出）											
”（内地）	0	148	0	0	414	0	0	0	562	0	562
結城	0	0	0	0	0	いざり機 2,500	0	0	0	いざり機 2,500	いざり機 2,500
石下	0	150	25	0	452	81	0	0	602	106	708
伊勢崎	0	0	0	15	220	2,307	2	17	220	2,307	2,544
桐生	0	0	0	0	0	0	500	500	0	0	500
桐生（内地）	70	80	0	810	600	8	0	880	680	8	1,568
群馬	0	2,474	0	0	0	0	0	0	2,474	0	2,474
秩父	0	0	0	210	305	0	0	210	305	0	515
飯能	103	2,666	0	26	14	290	0	129	2,680	290	3,099
八王子	11	0	0	1,154	498	0	10	1,175	498	0	1,673
半原	0	0	0	0	2,206	1,074	0	0	2,206	1,074	3,280
富士吉田	0	0	0	770	41	0	0	770	41	0	811
松本	58	380	0	0	87	103	0	58	467	103	628
十日町	1,545	128	0	263	3,863	106	0	1,808	3,991	106	5,905
五泉	333	2,362	0	0	0	0	0	333	2,362	0	2,695
塩沢	0	0	0	0	335	598	0	0	335	598	933
小千谷	0	0	0	30	554	46	0	30	554	46	630
加茂	200	600	0	0	0	0	0	200	600	0	800
加端	285	288	0	0	0	0	0	285	288	0	573
金沢	199	0	0	0	0	0	220	419	0	0	419
小松	4,298	918	0	0	20	0	47	4,345	938	0	5,283
加賀	297	581	0	0	0	0	25	322	581	0	903
根上	457	54	0	0	0	0	209	666	54	0	720
福井	1,550	1,140	0	0	0	0	680	2,230	1,140	0	3,370
春江	0	2,457	0	0	0	0	0	0	2,457	0	2,457
前宮	185	916	0	0	0	0	0	185	916	0	1,101
中屋	214	313	0	0	0	0	0	214	313	0	527
浜縮	80	1,960	86	0	0	0	0	80	1,960	86	2,126
鳥取	0	40	0	0	0	0	0	0	40	0	40
西陣織物工業	0	0	0	1,111	10,630	5,743	0	1,111	10,630	5,743	17,484
西陣着尺	0	550	0	50	2,850	50	0	50	3,400	50	3,500
丹後	1,885	21,051	0	0	0	0	0	1,885	21,051	0	22,936
出石	196	2,276	0	0	18	0	0	196	2,294	0	2,490
博多	0	73	0	280	1,692	81	0	280	1,765	81	2,126
鹿児島	0	0	0	0	0	21,000	0	0	0	21,000	21,000
奄美大島	0	0	0	0	0	9,228	0	0	0	9,228	9,228
久留米	0	0	0	0	16	13	0	0	16	13	29
総 計	12,773	43,110	111	5,069	25,300	43,358	2,391	20,233	68,410	43,469	132,112
前 年 度	13,014	39,837	87	6,139	23,642	37,164	2,695	21,848	63,479	37,251	122,578

(4) 最近 10 年間の国内生糸消費状況

1) 別表にて国内絹織物産地の 10 年間の生糸消費の推移を示した。

10 年前 (昭 38) 234,610 俵から 478,228 俵と 2 倍に増加

産地別にみた伸び率の高い産地は

加茂 9.8 倍, 足利内地 8.9 倍, 出石 8.9 倍, 鹿児島, 奄美 5 倍

大量生糸消費産地で順調に増加している産地は

丹後 2.8 倍, 西陣織工 3.8 倍, 五泉 2.9 倍, 春江 2.6 倍, 博多 2.6 倍, 長浜 2.5 倍

輸絹産地は著しく減退した。

鶴岡 70 % 減, 川俣 50 % 減, 桐生輸出 83 % 減, 金沢 32 % 減

2) 絹織物産地の絹稼動台数

昭 38 年の絹稼動台数 80,421 台から, 47 年は 132,112 台へと 64 % 増加した。

この 10 年間で広巾力織機の絹稼動は年々減少し, 小巾力織機, 手織足踏機台数が増加しているのは輸絹が減退し, 和装用生地が増産しているためである。

3) 絹織物 and 装用品目別の生産高

白生地表地用はこの 10 年間に 2.8 倍に増加

白生地裏地用は " 64 % 増加に止っている。

白生地合計では " 2.3 倍に増加

白生地品目別には紋意匠は 15.5 倍増 駒りんず 3.5 倍 紋綾子等 4.8 倍

胴裏用白生地では羽二重 (広巾羽二重が主力) が 3.3 倍増加し, 小巾裏絹は僅か 34 % しか増加していない。

先染着尺合計では 67 % の増加でお召が 54 % 減, 正絹銘仙は皆無となった。代って大島が 3.3 倍, 紬織 3.9 倍, 雨コート 4.5 倍, 帯地は 3.8 倍に増加し, 袋帯が 6.2 倍, 名古屋帯 45 倍, 黒共帯は 15 倍に増加した。

4) 交織物

交織白生地は近年増加しているが, シルクウールが増産しているためで全白生地生産の 6 % 程度である。

先染交織着尺は 10 年前 26 % の生産割合が 47 年は 19 % と正絹物に移行。

交織帯は 10 年前 13 % が 47 年は 5 % と正絹化が進んでいる。

最近10年間の産地別生糸消費高，絹稼動台数

	生 糸 消 費 高 (俵)					絹 織 物 稼 動 機 台 数				
	1963 昭 38	1966 昭 41	1969 昭 44	1972 昭 47	10年前 対 比	1963 昭 38	1966 昭 41	1969 昭 44	1972 昭 47	10年前 対 比
鶴 岡	3,640	2,670	3,268	1,089	30	670	450	522	168	25
米 沢	3,350	4,790	4,695	6,026	180	1,500	1,848	1,351	857	57
川 俣	8,090	4,115	5,521	4,067	50	4,480	3,197	2,341	1,300	29
足利内地	20	1,120	1,400	1,785	892	556	654	280	562	101
石 下	250	380	428	1,051	420	525	639	588	708	135
伊 勢 崎	1,640	2,726	2,896	1,199	73	631	808	4,765	2,544	403
桐生輸出	6,270	4,165	1,985	1,050	17	1,000	966	500	500	50
桐生内地	6,000	7,023	7,106	6,965	116	2,037	2,750	3,104	1,568	77
群馬生絹	5,700	5,726	6,721	7,287	128	2,030	1,996	2,418	2,474	122
秩 父	970	943	1,244	1,052	108	600	855	475	515	86
埼 玉	4,900	6,590	5,804	7,757	158	2,711	3,068	3,205	3,099	114
八 王 子	10,115	12,972	10,953	9,411	93	2,752	2,594	3,180	1,673	61
村 山	1,000	1,650	1,591	1,557	155	3,070	4,100	4,049	3,280	107
山 梨	4,870	2,094	1,927	2,525	52	1,731	432	670	811	166
長 野	1,500	2,135	2,157	2,059	137	445	516	605	628	141
十 日 町	11,300	16,867	21,382	23,029	203	2,408	2,629	3,177	5,905	245
五 泉	6,800	10,460	14,703	19,885	292	1,123	1,452	2,009	2,695	240
塩沢,小千谷	535	475	527	581	108	1,495	1,494	1,621	1,563	105
加 茂	500	922	2,573	4,902	980	150	200	400	800	533
城 端	2,070	2,091	2,843	3,188	154	516	463	512	573	111
金 沢	4,320	3,033	3,203	2,960	68	1,173	809	871	419	36
小松,根上	15,750	23,171	22,643	33,282	211	2,929	4,546	5,319	5,803	198
加 賀	3,040	2,907	3,632	4,760	156	836	761	849	903	108
福 井	15,210	11,803	10,245	13,527	89	3,884	2,840	3,063	3,370	87
春 江	6,300	7,000	10,364	16,746	266	1,382	1,506	1,807	2,457	182
前宮,中屋	6,460	14,639	7,222	6,408	99	1,170	2,447	1,583	1,628	139
長 浜	10,600	17,829	17,578	26,177	247	1,404	2,056	2,007	2,126	151
西陣織工	15,730	24,217	38,540	59,367	377	11,299	14,000	16,518	17,484	155
西陣着尺	15,000	21,873	22,851	21,552	144	2,730	2,855	3,738	3,500	128
丹 後	52,550	83,114	122,738	147,441	281	11,597	19,072	21,010	22,936	198
出 石	1,030	4,202	8,080	9,159	889	515	1,177	1,850	2,490	483
博 多	6,430	8,697	12,711	16,520	257	913	1,608	2,021	2,126	233
鹿児島,奄美	1,800	5,104	7,633	9,026	500	9,898	14,674	23,716	30,228	305
計	234,610	320,497	390,575	478,228	204	80,421	100,645	111,411	132,112	164

最近 10 年 間 の 和 装 用 絹 織 物 品 目 別 生 産 高

単位 (小巾 3 丈換算) 1,000 反 帯地=1,000 本

		1963 昭 38	1966 昭 41	1969 昭 44	1970 昭 45	1971 昭 46	1972 昭 47	10年前 対 比
白生地 (表地)	無 地 ち り め ん	3,950	4,754	5,526	5,110	5,906	7,300	185
	駒りんずちりめん	500	2,324	3,353	2,683	2,007	1,763	352
	紋意匠ちりめん	200	610	1,586	2,269	2,558	3,099	1,550
	紋倫子, 縫取絵羽	1,040	2,172	3,381	3,857	4,371	5,020	482
	羽 二 重	580	740	503	631	774	757	131
	絹 紗	400	410	701	875	889	982	245
	計	6,670	11,010	15,050	15,425	16,505	18,921	284
白生地 (裏地)	長繻紳用(精華倫子)	750	1,489	1,340	1,663	1,421	1,178	157
	裾廻し用(パレス)	1,210	1,899	1,923	1,986	1,956	1,934	160
	胴 裏 用(裏 絹)	2,850	3,173	3,515	3,555	3,574	3,806	134
	" (羽二重)	580	833	1,373	1,519	1,566	1,936	333
	計	5,390	7,426	8,151	8,723	8,517	8,854	164
白生地	和 装 小 物 類	335	618	657	661	781	702	210
白 生 地 合 計		12,395	19,054	23,852	24,809	25,803	28,477	230
先染	大 島	368	625	921	929	1,084	1,215	330
	紬 織	292	564	950	995	1,036	1,148	393
	紬 紉	228	437	445	308	288	375	164
	お 召	1,551	1,575	998	1,029	788	713	46
	銘 仙	110	125	21	7	0	0	—
	絹 紗 盛 夏 物	160	500	369	313	467	504	315
	雨 コ ー ト	122	100	366	439	579	545	446
	黄 八 丈	3	8	77	45	61	45	1,500
	男 物 着 尺	42	32	89	95	102	109	260
	そ の 他 着 尺	73	175	262	416	380	264	361
	袴 地	23	16	30	32	38	46	200
	合 計	2,972	4,157	4,528	4,608	4,823	4,964	167
帯	袋 帯	352	792	938	1,113	1,199	2,200	625
	名古屋帯(袋名古屋帯を含む)	541	838	972	1,073	1,316	2,470	456
	黒 共 帯	25	36	108	154	279	385	1,540
	博 多 帯	731	1,165	1,217	1,232	1,337	1,585	217
	塩 瀬 染 め 帯	162	326	386	426	504	534	330
	合 計(その他帯を含む)	2,083	3,676	4,040	4,555	5,112	7,930	380
交織物	交 織 白 生 地	670	659	1,515	1,628	1,451	1,668	249
	" 先 染 着 尺	785	1,152	1,757	1,216	1,080	949	121
	" 帯	270	595	880	646	382	429	158

(5) 10年後の国内生糸消費の見通しと、輸入生糸との競合及び世界の生糸需給の見通し
47年（生糸年度）を基準として世界蚕糸主要国別に10年後（昭56年）の動向を予測すれば、

日 本 生糸生産高は横バイ、純内需は年率2%増（年1万俵）
10年後の純内需60万俵 輸出1万俵 輸入28万俵と推定

中 国 生糸生産高年率5%（約1万俵）増 10年後33万俵 内需15万俵
輸出18万俵と推定

韓 国 生糸生産高年率4%（約3千俵）増 10年後9万俵 内需1万俵
輸出8万俵と推定

北 鮮 生糸生産高年率10%増（約1,200俵） 10年後2万5千俵 内需5千俵
輸出2万俵と推定

ソ 連 生産、消費とも現状の5万俵が横バイと推定

印 度 生糸生産高年率1%（約3'00俵）増 10年後4万俵 内需3万7千俵
輸出3千俵と推定

ブラジル 生糸生産高年率20%（約1,300俵）増 10年後2万俵 内需2千俵
輸出1万8千俵と推定

欧 州 生糸生産高は横バイ（約7千俵） 内需2万5千俵 輸入2万8千俵
輸出1万俵と推定

米 国 輸入2万1千俵 輸出1,000'俵 内需2万俵と推定

その他 生糸生産高8%増（平均1,000俵） 10年後2万3千俵 輸出1万俵
輸入3千俵 内需1万6千俵と推定

各国の輸出、輸入を生糸、絹織物別に推定し、一表にまとめれば次表のとおり。

（単位1,000俵）

	47 生 糸 年 度				10 年 後 (56 生 糸 年 度)				10年後輸出		10年後輸入	
	生 産	輸 出	輸 入	内需	生 産	輸 出	輸 入	内需	生糸	絹織物	生糸	絹織物
日 本	323	10	204	536	330	10	280	600	—	10	185	95
中 国	210	150	—	70	330	180	—	150	126	54	—	—
韓 国	62	64	1	3	90	80	—	10	40	40	—	—
北 鮮	11	7	—	4	25	20	—	5	20	—	—	—
ソ 連	50	—	—	50	50	—	—	50	—	—	—	—
印 度	37	4	1	34	40	3	—	37	—	3	—	—
ブラジル	6	5	—	1	20	18	—	2	18	—	—	—
欧 州	8	19	36	25	7	10	28	25	3	7	18	10
米 国	—	1	16	15	—	1	21	20	—	1	10	11
そ の 他	12	1	3	14	23	10	3	16	8	2	2	1
合 計	719	261	261	752	915	332	332	915	215	117	215	117

10年後の日本の生糸需給推定では、生糸輸入185千俵〔47生糸年度157千俵の18%増（年増加量1,800俵見当）〕にて、増加傾向は著しく鈍化すると思われる。

絹織物輸入は 95 千俵とみられ 47 生糸年度の 47 千俵の約 2 倍に増加（毎年平均 5,000 俵増）するであろう。

国内生糸引渡高は 515 千俵程度で、47 生糸年度の 498 千俵に比し僅か 3.4 % 増（年率約 0.3 % 増）と見込まれる。

農林統計による生糸需給は 47 生糸年度の規模で、横バイといった状況が続くとみられ、産地の生糸需要もこれにマッチさせる必要があるだろう。従来のテンボで産地の生糸消費が増大すれば、生糸需給はタイトとなり今後の糸価は高位安定相場とみられる。

輸入絹織物の約 95 % が中国、韓国から輸入とみられ、中国絹織物も和装用絹織物の転換が予想されるので、国内の絹織物産地は絹稼動台数は現状に止め絹織物は高級品に移行することとなるだろう。

中国、韓国の優良生糸が絹織物輸出に振り向けられるとみられ、国内機業地では従来に増して、優秀な日本生糸を強く要求することとなるだろう。

(6) 今後の日本生糸自衛策

前項で通べた通り輸入生糸に対する機屋の魅力は練減りと価格（割安）による採算性が最大理由であり、その欠点としては銘柄指定の困難、荷口の受渡しの不安定にあることから、日本生糸の自衛策としては一段と系列化を強化して機屋の好む織度、品質内容の保持、受渡しの適切化を図るべきであろう。

- 1) 問屋段階までの系列化からさらに前進させ問屋→機屋までの長期的系列化を推進する。
- 2) 製糸工場で現在生産中の生糸がどこの機屋に、何の織物に使用されるか予め判っているような系列化が望ましい。
- 3) このような系列が完全に実施されれば、生糸の品質については機屋の要求する品質内容に応じた技術指導を実施することが容易である。（これらは一部の製糸会社では既に実施している）
- 4) 製糸工場の技術者は系列先機屋の技術者と密接な連絡を保ち、そのためには相互の交流現場の視察を頻繁に行うべきで、これに要する経費は品質の向上によって格差または売値で吸収し得るであろう。
- 5) 機屋と絹織物卸商との間にはかなり系列化が進んでおり、中には織物卸商社が数軒の機屋をプロダクトチームとして編成し、年間一定の絹織物を長期に契約している。

これらと製糸工場→糸問屋とが一貫的にこれらのプロダクトチームに参加できるよう努力すべきであろう。

- 6) 輸入絹織物は品質的には日本製より劣るものが多い。輸入絹織物に対抗するためには、機屋は優秀な日本生糸を確保して品質で対抗しなければならない。優秀な機屋ほど製糸業者との系列を望んでいる。